

学びや

ヨイムスワップ

一般的に「学区」といって、通学区のことを指します。しかし京都市内では「通学区のことばは校区」と呼び、「学区は自治の単位を指すことが一般的です。では、その「学区」はどのように誕生して、どのように変遷したのでしょうか。

⑮ 学区制度と小学校 (明治時代)

その後、半年から1年かけて、各番組の「ミニミニティ・センター」として番組小学校が設置されていきました。

番組は「区(79年)」、権なども変わり、最終的に「学区」(75年)に、京都市が誕生した3つのように呼び名(開智)「組」(79年)と名称、年々の92(明治25)年に「明倫」「立誠」など、各々の番号・自治の裁量「学区」となります。各々が公式書類に用いられ始めるのも、この頃からで

裁量権持つ公的自治組織

現在の「学区」は、自治連合会や社会福祉協から1万6674円が寄付されたことを賞し、賞励局より清水政太郎が属的な組織ですが、戦前の「学区」は公的に認められた自治組織で、このように学区制度は他都市でも採用されていました(詳しくは、三上和夫「学区制度と住民の権利」参び照)。



京都市下京区清水町 清水政太郎 外千五十三名

三つ重ね純金製金杯 (1906年、日彰自治連合会蔵)

明治三十五年九月京都市下京区和久屋町日彰尋常小学校 建築費金壹萬六千六百七拾四圓 守附候段奇持 舟為其賞金杯 壹組下賜候事

明治三十九年六月廿六日

賞励局總裁後藤孝子爵大給恒



元日彰小(現高倉小)

今回紹介した資料は、学校歴史博物館(下京区)常設展示室で9日から展示を開始しました(水曜休館)。

京都の学区制度の根幹は、各学区内で選ばれた学区会議員で構成される学区会の開催と、学区市税の徴収などによる学区資産の保有、そして学区の重層組織である共同組の視察に訪れています。

後にこの校舎には、エール大学教授ラッド、京都帝国大学総長菊池大麓、コロンビア大学教授ジョン・テューイなどが

学芸員 和崎大太郎